

2017. 6. 29

★は新規・見直しがあったもの

太字は今年度の重点と思われるもの

(1) 若者の再出発のサポート 相談 及び 学習支援

- ・進路変更について、選択肢の提示、学習方法のアドバイス
- ・高校卒業認定試験に向けて学習支援、
- ・高校転学試験および、編入学試験に向けての制度の説明、学習支援、手続き支援
- ・高校再受験へのアドバイス、学習支援
- ・チャレンジスクール受験のための面接・作文指導
- ・高校等入学後のアフターケア、学習支援

○調布学園での学習サポート

①小学6年生を対象とした学習サポート (月1回 土曜日 9時~10時半)

②中高生自習室でのサポート (第3木曜日 19時~21時)

③個別サポート (必要に応じて)

○二葉学園での学習サポート (学園から要請があった時に行う)

(2) 相談活動

- ・メールによる相談

★・相談日の実施 (年2回) 会場を福祉センターにする (原則土曜日 14時~16時)

今年度は6月24日(土)・1月13日(土)

(3) 学習支援ボランティアのバックアップ

- ・学生ボランティアメンバーへの支援

①交通費 (1回 1000円)

*養護施設慈恵園での学習支援については交通費実費半額補助

★ ②留学生との交流会への支援 (現在休止中) → (12) 若者に向けた多様な学びや体験の場の企画へ

・会場の提供・留学生への謝礼補助 (3000円)・軽食補助 (参加者1人あたり500円)

★③学生ボランティアから要望があった活動、学習支援に必要である活動については活動費を支援する。

★ (4) 学習支援ボランティアの研修の機会を保障する。

- ・情報提供や企画
- ・参加費用の支援 (学生ボランティアの場合)

(5) サポート基金の活用

- ・奨学金貸付 (無利子) 上限10万円 必要な若者に貸付を行う (学習支援目的に限定しない)

必要な資金を補助する (例: おけいごと補助・養護施設からの自立支度金 他)

*基金活用特別委員会にて審査・検討して実施する (例会での承認を得ることを原則とする)

★基金の活用のガイドラインを今年度中に検討・作成する

- ・一定の項目に限定して給付も検討する
- ・具体的な項目や金額を示して活用しやすくする。

(6) 例会開催 偶数月の最終木曜日 18時半より

例会準備会開催 奇数月の最終金曜日 18時半より

(7) 学習の機会の設定

- ・例会や相談日の中で必要な情報を交換、積極的に学び合う場を設定する。

★希望者には学習支援に関わる研修に参加する機会を保障する。

- ・8月例会時に学習会を予定 (8月31日・福祉センター視聴覚室) 慈有塾 高木実有さん

(8) 資金の調達

- ・サポーターズパーティの開催（3月）
- ・桜まつりでの菓子・コーヒー販売（4月2日実施済み）

(9) 調布市子ども若者事業『ここあ』との連携と協力

- ①「ここあ」の活動に協力してゆく
- ②「ここあ」でカバーできない部分に協力してゆく

(10) 宣伝活動

- ・ホームページの拡充
- ・リーフレットの発行
 - ①中学校卒業生向けのもの作成。調布市内の全中学校（公立）に配布
 - ★②中学卒業後の若者・自立生活を始める若者向けのものを作成。
 - ③一般向けのもの作成。活動内容の紹介・協力者募集
- ★・ニュースレターの発行（日頃の活動・エピソードがわかるもの）・寄付いただいた方への報告にも
- ・学習会・講演会への講師派遣
- ・地域イベントなどへの参加（さくらまつり・まち活フェスタなど）

(11) こども食堂（覚證寺）との連携と協力

○資金協力 年間30000円

★(12) ニーズをつなぐ（イベント）活動

○若者に向けた多様な学びや体験の場の企画

- ・「お金と労働の知識」学習会（手続きの仕方・トラブルの対処法）←弁護士・法を学ぶ学生に協力を求める
- ・女性の人権や性教育の学びとコラボした「お化粧のやり方講座」 ・留学生との異文化交流
- ・地域の協力者に力を借りながらの華道体験教室 他

○シングルマザーや困っている保護者に向けた相談や交流の場の企画

- ・夜の進路説明会 他

○ネットワークを活かしたニーズをつなぐ活動

- ・おたすけファッションコーディネート（卒業式の制服をネットワークで調達）
- ・必要な品物 調達コーディネート（養護施設を自立する若者へ）
- ・住まいのコーディネート（空き家情報の提供・安い家賃で必要とする若者に紹介できるか）

○“育てる” 思いで受け入れてくださる『働く場』の開拓と必要な若者につなげる活動

(12) 課題の共有と情報の発信

- ・若者と若者を取り巻く実情について積極的に情報を発信してゆく。
- ・課題と願いを多くの人と共有し、実現できることをふやしてゆく。

29年度役割分担

実際にはもっと多くの方が役割を担ってくださっていますが、対外的にも確認しておいた方がよいものに限って確認します。実際には、学習支援ごと、イベントごとの役割分担で活動は進めてゆきます。（敬称略）

○代表 大町

○会計 ドウマンジュ （オブザーバー）横山 監査 大町

○学習支援窓口 西牧

○ホームページ担当 藤澤

○相談メール担当 大町・西牧・川上・進藤 ★富永・浅野

○基金活用特別委員 大町・西牧・ドウマンジュ・横山・浅野 と申請者

○連絡担当 浅野